



しもよねだ



No. 4

学校の教育目標 かしこく(よく考える子) あたたく(思いやりのある子) たくましく生きる子(強い体の子) 令和5年7月3日

学徳高き<津田左右吉博士>のふるさと下米田で、**健やかに育つ子ら!**

夏を味わう

校長 佐藤 亜紀



先週は、2度にわたる緊急時お迎え下校とさせていただきます。気象状況や気象予報を基に、児童の安全を第一に考え、総合的に判断いたしました。突然のお願いでしたが、保護者の皆様にご理解・ご協力を頂いたことに、心より感謝いたします。この季節は、天候の急激な変化が多くなります。それぞれのご家庭のご事情に合わせ、時折、学校からのメール配信を気に掛けていただけますとありがたいです。よろしく申し上げます。

「安全第一で夏を味わう」

児童が登校する前の時刻から、毎朝、プール当番の職員は、塩素濃度の測定、異物等の混入や危険物はないか等、念入りにプールの状況を点検しています。日よけのテントや見学者用の椅子も確認し、子どもたちが安全にプールを活用できるよう、万全の体制を整えることが日課になっています。そんな職員の様子を登校した児童が目にし、“プールだ!”と目を輝かせる姿に出会うと、「夏だからこそその学習」の尊さをも感じる毎日です。



「自然を通して夏を味わう」

1年生の教室の前には、朝顔の鉢、2年生では、ミニトマトの鉢が並んでいます。既にピンクや青、紫色の花を咲かせている鉢やトマトの黄色い花が咲いている鉢もあり、子どもたちの笑顔も満開!です。登校すると愛しげに水やりをする姿を微笑ましく見えています。

登下校時に自分なりの暑さ対策をしながら歩く姿、休み時間に元気に運動場で遊ぶ姿、「雨が降った後は、雨蛙がいっぱいいるよ。」「屋根から落ちてくる雨を傘で受けると、すごくいい音がするよ。」と教えてくれる姿に出会うと、天候に負けない子どもたちのたくましさや力強さを感じます。そして、下米田の自然と共存しながら豊かな感受性を育てているのだと感じています。

【より一層の熱中症対策を】

5月19日付け配付文書「熱中症対策に係る学校での対応について」の内容については、ご承知のとおりです。特に昨今の蒸し暑さは、健康被害のリスクが高く、子どもたちへの呼び掛けを随時行っている状況です。登下校や体育、休み時間(外遊び)ではマスクを外すよう指導しています。また、外遊びの際には、上着を脱ぎ、帽子をかぶることや、水分補給をこまめに行うことも継続して指導しています。室内のエアコンと併用しながら、熱中症対策を万全にして、安全・安心な学校に努めてまいりますので、ご家庭でも声掛けや見届けをお願いいたします。マスクの着用等、特別な事情がある場合は、連絡帳等で担任にお知らせください。個別対応をさせていただきます。